令和元年度三輪地区住民自治協議会事業計画

三輪地区住民自治協議会は、昨年発足10周年の節目の年を迎えましたが、本年度は新しいステージに向けその第一歩を踏み出す重要な年となります。

特に、自治協の取組みの根幹である現行の「第二次三輪地区地域福祉活動計画」が最終年度となることから、間近に迫る超高齢化社会を見据えた地域包括支援事業などを反映した新たな５ヶ年計画を策定します。

　また、昨年の長野県立大学の開学を契機に、今後は「文教地区三輪」として、地域と学校の連携を軸とした活力あるまちづくりを目指します。

これらの事業を着実に実行することにより、住み慣れた地域で安心して暮らせる町“三輪”を目指して本年度の事業計画を策定しました。

**〇三輪地区地域福祉活動計画**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **三輪地区地域福祉活動計画** | |
| 事業の目的 | 三輪地区地域福祉活動計画の策定及び推進により、安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指す。 |
| 事業の内容 | １　第二次三輪地区地域福祉活動計画の推進  ・「第二次三輪地区地域福祉活動計画推進委員会」を中心に、全部会一体となり計画の実践と推進を図る。  ・計画の最終年度であることから、5か年の総括と評価を行い、次期5か年計画に反映させる。  ２　第三次三輪地区地域福祉活動計画の策定  ・第二次地域福祉活動計画の終了を受け、その総括と評価を踏まえるとともに、超高齢化社会への対応を目指す地域包括支援事業などを反映した新たな5か年計画を策定する。  ・「計画策定委員会」を組織して、検討・策定する。 |

**○地域包括支援事業**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **地域包括支援事業** | |
| 事業の目的 | 高齢化社会が進む中、住民の誰もが住み慣れた地域で自分らしくいきいきと安心して暮らすために、地域で支え合う仕組みづくりを推進する。 |
| 事業の内容 | １　健康づくりと介護予防の充実及び推進。  ２　居場所づくりと生きがいづくりの推進。  ３　高齢者の生活を地域全体で支えるための仕組みづくり。 |

**○地域たすけあい事業**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **地域たすけあい事業** | |
| 事業の目的 | 高齢化・核家族化が進み、昔ながらの地域での支え合いの機能が低下していく一方で、  日常生活の関りの中、互いに助け合うという気運も高まっている。  地域住民の協力を得ながら、家事援助や福祉移送事業により、支え・助け合いの地域づくりを目指す。 |
| 事業の内容 | １　有償助け合い活動（家事援助・福祉移送）の実施  ２　協力会員・利用会員・賛助会員の募集  ３ 「たすけあい事業」の啓発  ４　協力会員の研修  ５　福祉自動車の維持・管理 |

**○地域と学校の連携**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **地域と学校の連携（旧学校と地域との連携）** | |
| 事業の目的 | 「文教地区三輪」として、地区内にある学校と連携したまちづくりや交流の推進等により、地域の活性化を図る。 |
| 事業の内容 | １　地域で開催する事業への学生や教授等の参加・協力の依頼  ２　学校が行う伝統文化継承や地域活性化に資する活動への支援  ３　地域と学校が連携して行うまちづくり事業等の企画・実施  ４　上記の事業内容について、今後関係者をメンバーとするプロジェクトチームで検討を進める。 |

**≪各部会事業計画≫**

**（１）総務（区長）部会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名  **必須事務・選択事務等の処理** | | |
| 事業の目的 | 長野市と三輪地区住民自治協議会が締結した「協働に関する基本協定書」に基づき、区長の担当する必須事務及び選択事務等を適切に処理する。 |
| 事業の内容 | 長野市からの依頼事務を履行する。 |
| 事業名  **総務（区長）部会研修** | | |
| 事業の目的 | 住みよい町づくりのため参考になる実践例を持つ他地区を訪れ、視察・研修して自治協の事業に反映させていく。 | |
| 事業の内容 | 30年度は防災についての視察・研修を行ったが、31年度は、区長の業務に役立つ幅広い視察研修を計画したい。 | |
| 事業名  **行政との懇談会の開催** | | |
| 事業の目的 | 市長等を迎えて、三輪地域のあるべき姿や課題等について意見交換を行い、地域の活性化に繋げる。 | |
| 事業の内容 | 本年度は「未来トーク」として自治協に市長を迎えて懇談を行う。  ・日時：9月28日（土）14：00～16：00  ・内容：今後検討していくが、一案として：パネルディスカッション方式により未来の三輪の姿等について市長と自治協会長や若者等のパネリストが語り合い、自治協のこれからの取り組みのヒントを探る。 | |
| 事業名  **地域福祉懇談会の開催** | | |
| 事業の目的 | 地域における問題点や課題について話し合い、問題解決に向けた取り組みをする。 | |
| 事業の内容 | １　各区の実情に合わせた懇談会を開催し、活性化に繋げる。  ２　介護予防・生活支援体制に関する取り組みを効果的に進めるため、意見交換の場としてこの懇談会を活用していく。 | |
| 事業名  **三輪地区自主防災組織連絡会** | | |
| 事業の目的 | 三輪地区内の自主防災組織相互の情報交換を密にし、各区の自主防災会の充実強化を  図るとともに、災害発生時における行政との迅速正確で円滑な連絡体制を構築することにより、地区の防災体制の充実強化に寄与する。 | |
| 事業の内容 | １　自主防災会相互の情報交換を通じ、自主防災組織の充実強化を図る。  ２　災害発生時における各自主防災会と行政及び自治協内の情報交換。  ３　防災関連事業の実施。 | |
| 事業名  **防災対策推進事業** | | |
| 事業の目的 | 各区の「自主防災活動」と要支援者のみでなく区としての「避難行動対策事業」を行う。 | |
| 事業の内容 | １　自主防災活動の実施  　　　・各区の自主防災会において防災訓練・研修会の開催、防災知識の普及・啓発などを実施する。  ２　防災備蓄物品の充実  ・各区の自主防災会において「防災備蓄物品」の充実に努める。  ３　避難行動対策事業  ・各区の自主防災会は、災害発生時に隣組同士が声を掛け合い住民の安否確認が  出来る体制を整える。 | |
| 事業名  **広報活動** | | |
| 事業の目的 | １　積極的な広報活動を通して、自治協をより住民に近づけるとともに、事業効果を  確かめる。  ２　三輪地区住民へ広報誌（自治協だより）を通して自治協全体の動き、方向性を伝えるとともに、６部会の事業の推進を住民と共有化していく。 | |
| 事業の内容 | １　自治協だよりの発行は年４回とする。  （発行月：7月、9月、12月、2月）  ２　広報活動は、「自治協だより」・「ホームページ・フェイスブック」・「自治協協賛賞」を活用して行う。  ３　三輪地区住民自治協議会の認知度を高めるため各区が主催する事業に協賛する。  ４　三輪地区の歴史や名所、旧跡、隠れた見どころ等を写真やマップ等で紹介し、三輪地区の魅力をアピールするパンフレット（ガイドマップ）を作成し、配布する。 | |
| 事業名  **地域間交流事業** | | |
| 事業の目的 | 中山間地自治協との交流を通じて、相互の活性化と親睦を図る。  市からの事業補助金は打ち切られたが、過去3年間の実績もあり、本年度も継続する。 | |
| 事業の内容 | 小田切地区自治協と次の交流を行う。  １ 　 5月19日（日） 小田切地区で開催　 わらび狩り　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２ 　 6月 9日（日）　三輪地区で開催　　スマイルボウリング大会  ３ 　10月20日（日）　三輪地区で開催　　「ひまわり広場」に野菜売り場の出店 | |

**（２）健康・福祉部会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **健康づくり活動支援事業** | |
| 事業の目的 | 生涯を健康でいきいきと過ごせる「健康寿命」の延伸を目指して、だれでも参加できる専門講師による講座を実施し、日々の生活を充実した潤いあるものにするとともに、仲間づくりにつながる支援を目指す。 |
| 事業の内容 | １　いきいき講座・運動講座（部員委員研修を兼ねる）  ・運動講座　　　　5月・10月  ・薬の話　　　　　6月  ・健康講座　　　　8月  ・楽しく歌おう　　11月  　　・スマイルボウリング　（準備体操にラジオ体操を入れる）  ・カラーコーディネート又は運動講座　3月  ２　料理講習会  　　日々の生活を楽しく豊かにするとともに、健康に良い食生活をテーマにした料理講習会の開催。  ・生活習慣病予防  　　・欧風料理  　　・季節の料理　・郷土料理  　　　　　　5月・7月・8月・10月・11月・12月予定 |
| **事業名**  **地域活動支援事業** | |
| 事業の目的 | 地域サロンなどを通じて、地域での居場所づくり、健康づくりへの支援を目指す。 |
| 事業の内容 | １　地域お茶のみサロンへの参加  ２　地域お茶のみサロン支援  　　・サロンに役立つ講座の実施（部員・委員研修を兼ねる）  ・地域お茶のみサロン交流会  ３　地域はつらつ運動支援  　　・地域が主体となって行う健康づくり活動の支援  ・はつらつクラブ交流会  ４　総務（区長）部会主催の地域福祉懇談会への協力 |
| 事業名  **福祉活動支援事業** | |
| 事業の目的 | 住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる、お互いに顔が見える地域づくりを目指し、地域でひとりぼっちにならない、させないための支援を目指す。 |
| 事業の内容 | １子どもと親の育ち合いサロン運営支援　（１２回）  ２　第５回三輪地区住民福祉大会　11月19日（火）  ３　障がい者との交流  ４　ボランティアセンター  ①　地域の縁側として住民との交流  ②　ボランティア活動をしている人たちの拠点場所  ③　ボランティア登録・利用者登録の受付及びコーディネート  ④　地域住民の相談窓口（専門家に・地域につなぐ）  ⑤　認知症オレンジカフェ運営に協力  ⑥　ボランティアセンター研修の計画・実施　（傾聴講座・認知症サポーター養成講座）  ⑦　みわ男塾の開催　　6回実施予定  ⑧　まちの縁側  ⑨　長野市ボランティアセンターとの連携  ５認知症オレンジカフェひまわり  　・毎月第２木曜日開催  　・認知症の人や支える家族（介護者）が孤立しない、させない支援を目指す。  ・三輪地区住民の拠り所として、語り合い、笑い合い、悩みを分け合える場所として、認知症の人も、支える家族も、もしかしてと不安にかられる人も、認知症を学びたい人も誰でも集まれる居場所づくり。  ６　地域たすけあい事業への協力  ７　車いすの貸し出し |
| 事業名  **研修事業** | |
| 事業の目的 | 健康・福祉部員、委員として、大会や研修等へ積極的に参加し資質の向上を図る。  習得した情報を地域に広げるとともに地域の担い手の掘り起しを図る。 |
| 事業の内容 | １　長野県保健補導員等研究大会参加  ２　長野市地域福祉推進セミナーへの参加  ３　吉田保健センターによる健康づくり講座への参加  ４　長野県、市社会福祉協議会、地域包括支援センター等が主催するボランティア養成講座等に参加  ５　福祉担当者部会、関係者情報交換会（市社協主催）  ６　吉田保健センター三地区ブロック大会  ７　三輪地区ボランティアセンター講座の参加  ８　三輪公民館共催講座の参加  ＊「いきいき・運動講座」等も部員・委員研修として位置づける。 |

**（３）安全・安心部会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **交通安全推進事業** | |
| 事業の目的 | 三輪地区老人クラブ連合会、長野交通安全協会三輪支部等と連携して地域の交通安全を推進する。 |
| 事業の内容 | １　交通安全啓発活動。  ２　桃太郎旗と横断旗の管理。  ３　カーブミラーの点検。  ４　「子どもの安全見守りパトロール」活動に積極的に参加。  ５　地域の交通安全に積極的に参加。  ６　子どもと親、高齢者の交通安全研修会を関係団体と連携して実施。  ７　自転車事故防止のための啓発活動。 |
| 事業名  **防犯事業** | |
| 事業の目的 | 防犯指導員を中心に地域内の防犯活動を推進していく。 |
| 事業の内容 | １　長水防犯協会及び長野中央警察署による春・夏の地域安全運動と年末特別警戒運動期間中のパトロール実施、立て看板掲示を行う。  ２　地区内の防犯活動、キャンペーン、防犯相談、アドバイスに努める。  ３「子どもの安全見守りパトロール」活動に積極的に参加する。  ４　防犯研修会（兼防犯指導員研修）を開催する。  ５　不審者対策として注意喚起の看板の設置を継続する。 |
| 事業名  **子どもの安全見守りパトロール** | |
| 事業の目的 | 小学生の通学時の見守りと挨拶運動を学校やＰＴＡと連携を取り、継続的に実施していく。 |
| 事業の内容 | １　各区で通学路を中心とした下校時の安全見守りパトロールを毎月一定日に実施す  る。  ２　関係団体のほか、広く区民の協力を得て、ボランティア等段階的に拡大し、長期  継続を目指して推進していく。 |

**（４）環境・美化部会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **ごみ集積所の維持管理及び分別搬出のルール啓蒙** | |
| 事業の目的 | ごみ回収作業に関する「環境活動のてびき（長野市発行）」に従ってごみ搬出、集積、回収作業が適切に実施される事を目的とする。 |
| 事業の内容 | １　ごみ集積場に必要な、コンテナ・ネット類の維持と管理。  ２　集積所の内部・周辺の整理・整頓。  ３　ルール違反ごみは、「環境活動のてびき」に従って対応処理する。  ４　ごみ分別・搬出ルールの諸注意の告知・啓蒙。（各町毎、自治協だより等） |
| 事業名  **1人当たりのゴミ排出量削減　チャレンジ800** | |
| 事業の目的 | 県民1人当たりのごみ排出量全国最少が継続できるよう、地域の一人ひとりが率先して取り組む社会を目指す |
| 事業の内容 | １　県民1人当たりのごみ排出量（平成28年度：822ｇ/日。全国平均は925g/日）を800g/日にすることを目標に次の行動を呼びかける。（ミニトマトⅠ個分の努力。毎年10月30日は食品ロス削減の日）  〇買いすぎない・・・・必要な商品を、必要な時に、必要な量だけ購入。  〇作りすぎない・・・・食べきれる量を調理。  〇冷蔵庫の中を定期的にチェック・・・・期限間近なものから早めに消費。  ２　その他、地域の一人ひとりが日常生活において環境に配慮した取組みをし、地球温暖化対策にも繋がるよう、講演会などを通じて意識啓発を図っていく。 |
| 事業名  **春・秋の大掃除月間の計画推進及びゴミゼロ日一斉清掃** | |
| 事業の目的 | 各町地区の実情に合わせた清掃計画を実施し、地域にごみの無い美しい環境をつくる事を目的とする。 |
| 事業の内容 | １　春（5/1～5/31）・秋（10/1～10/31）の大掃除月間と月間中の一斉ごみゼロ日の計画・実施。  ２　ごみ分別の強調月間の巡回点検。  ・10月21日（月）　　城東区、泉町区予定 |
| 事業名  **害虫・野鳥及び野草の防除支援** | |
| 事業の目的 | 害虫、野鳥、野草の被害を防ぐため、支援体制を整える。 |
| 事業の内容 | １　カラスネットの供給・手配。  ２　市の指導・研究会に参加（ネット置き場）。 |
| 事業名  **環境美化部会研修** | |
| 事業の目的 | 環境活動に関する、委員・部員の知識、技術、実践について理解することを目的とする。 |
| 事業の内容 | 市のゴミ処理センター見学又はDVD視聴（5月下旬予定） |

**（５）教育・文化部会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **人権教育・男女共同参画推進事業** | |
| 事業の目的 | １　様々な人権問題に関心を持って互いの人権を尊重する意識を培いながら、すべての人の人権が尊重される社会を目指す。  ２　女性が積極的に活躍できる機会を拡充する。 |
| 事業の内容 | １　人権教育・男女共同参画研修会・講演会の実施  ・各区推進委員全体会を開催し、情報交換をする。   1. 男女共同参画研修会・講演会   　　　　　　　　　6月頃　　　（演題・講師は未定）   1. 人権教育啓発住民集会の開催   　　　　　　　　 12月頃　　　（演題・講師は未定）  ２　各区が開催する人権教育・男女共同参画研修会への参加と支援  ３　学社連携による人権教育の啓発活動の推進 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **まちづくりのつどい** | |
| 事業の目的 | 地区内各校の特色ある教育活動や地域活動の発表により、児童によって結ばれる学校と家庭・地域の相互の連携をはかり、子供の健全育成と住みやすいまちづくりを目指す。 |
| 事業の内容 | １　地域の教育力の向上や地区住民の学校教育に対する関心を一層高めていくために、各学校の特色ある教育活動の実践や地域の青少年育成活動の取り組みについて発表し合う。  ２　区民が必要として参加したくなるような魅力ある集会にしていく。  ３　開催日時 11月30日（土）第８回まちづくりのつどい。 |
| 事業名  **がんばれキッズ　ふるさとふれあい体験活動** | |
| 事業の目的 | 三輪地区の子ども達が普段体験できない故郷での実体験を味わい、よりよく成長を遂げていく生活の知恵や人間関係並びにふるさとの自然や文化を大事に受け継ごうという  気持ちを育む。 |
| 事業の内容 | |  |  |  | | --- | --- | --- | | 日　程 | 内　　　容 | 定員（人） | | 6月 8日（土） | 父の日だよ！親子でピザ作り | ２０ | | 7月 30日（火） | 夏休み化石を探しに行こう！ | ４０ | | 10月　5日（土） | ハロウィンのお菓子作り | ２０ | | 12月 7日（土） | お正月のミニ門松作り | ２０ | | 2月 1日（土） | バレンタインの小物作り | ２０ |   ５回実施。定員は子どもの数。親は別枠 |
| 事業名  **青少年の健全育成に関わる巡回指導及び環境浄化活動** | |
| 事業の目的 | 各区の少年育成指導員と連携した地区内巡回指導並びに青少年が育つ環境浄化の呼びかけと啓発に努める。 |
| 事業の内容 | １　少年育成指導員会及び地区内巡回指導   |  |  | | --- | --- | | 日　　時 | 項　　目 | | 5月12日（日） | 少年育成指導員会 | | 5月26日（日） | 地区内巡回指導 | | 8月12日（月） | お花市巡回指導 | | 9月26日（木） | 美和神社例祭巡回指導 | | 11月22日（金）～11月25日（月） | 地区内巡回指導 | | 11月30日（土） | 少年育成指導員会 | | 3月下旬 | 地区内巡回指導 | | 3月下旬 | 少年育成指導員会 |     ２　中心市街地巡回指導  10月27日（日）  長野市少年育成センターから長野駅方面  少年育成センター指導主事の先生と情報交換 |
| 事業名  **青少年健全育成のためのスポーツ大会** | |
| 事業の目的 | 子どもたち自ら企画して実践していく中で、自分たちの可能性を見出しながら心身の  向上を図り、リーダー性を養い地域とのふれあいを深める。 |
| 事業の内容 | １　子ども会町別育成会連絡会で実施する二つの事業である「ドッジボール大会」「健康まつり」と、各町で実施する夏休みラジオ体操等を通じて、子どもたちの　自主的、主体的な取り組みができるように支援・指導する。同時に、子どもたちの手による子どもたちの活動への喜びと充実感を持たせる。  ２　子どもたちの活動の過程を大切にし、親の手助けをできるだけ少なくして、見つめ見守る姿勢を大事にしていく。   1. 三輪地区ドッジボール大会　5月25日（土） 2. 〃　　　　　　　　5月26日（日） 3. 一千万人ラジオ体操会　　　7月28日（日） 4. 子ども健康まつり   前日リハーサル　　　8月31日（土）  子ども健康まつり　　9月　1日（日） |
| 事業名  **教養文化講座** | |
| 事業の目的 | 地区住民が、地域の歴史や文化に学びながら見聞を広げ、地域への愛着を深める。 |
| 事業の内容 | １　地区住民の興味・関心の高い題材を検討して、誰もが参加して良かったと思え　　　　るような講座を企画する。  ２　地域に対する再認識を呼ぶ内容を選択する。  ３　31年度は２回開催する。　　6月29日（土）、9月28日（土）   * 今年度作成する三輪地区のガイドマップを活用して、地区内の名所・旧跡や隠れた見どころなどを散策する「まち歩き」の企画を今後検討していく。（健康・福祉部会の「まちの縁側事業」とも連携） |
| 事業名  **親善スポーツ大会等** | |
| 事業の目的 | スポーツ活動を通してスポーツの面白みを体感するとともに、地区住民の絆を深め、各町同士の親睦・交流を深める。 |
| 事業の内容 | １　スマイルボウリング大会　　　6月　9日（日）  ２　綱引き大会　　　　　　　 　11月10日（日）  ・各大会ともスポーツ推進委員と協力しながら実施する。  ・開催１ケ月前に実行委員会を開催して、要項等について検討し、確認する。  ・本年度の幹事公民館は、相ノ木東公民館。  ３　スポーツコミュニティによる交流　　　毎月1回程度  ・三輪体育館を会場に、スポーツ推進委員の指導によるスポーツ交流を行う。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **成人式** | |
| 事業の目的 | 新成人の門出を地域全体で祝う。 |
| 事業の内容 | 市内11地区合同で組織する実行委員会で、成人式を企画、開催する。 |

**（６）区民広場部会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **三輪地区ふれあいコンサート** | |
| 事業の目的 | 三輪地区内の音楽文化をみんなでふれあい楽しむ。 |
| 事業の内容 | 期日：6月30日（日）　9：00～12：00（予定）  場所：三輪小学校体育館  下記のことを検討し、質の高い音楽を楽しめる内容とする。  １　三輪地区にゆかりのある団体（園児から大人まで）のバラエティ豊かな音楽会を  楽しむ。  ２　８団体目途に出演交渉を早めに行い、バランスを考え新規団体の発掘も図る。  ３　暑さ対策を検討する。  ４　１０回目を意識して盛大になるよう計画する。 |
| 事業名  **ひまわり広場** | |
| 事業の目的 | 三輪地区住民の一体感を築くため、住民が明るく楽しい交流ができる場を設定し、世代間の交流も大切にしながら、区民みんなが心を寄せ合って活動できる事業とする。 |
| 事業の内容 | 期日：10月20日（日）　9：30～13：00（予定）  場所：三輪公民館、三輪支所及び周辺駐車場  １　自治協の総力を挙げての開催とし、協力団体を含めた実行委員会を組織して企画運営にあたり、フリーマーケット・野菜広場・お花広場・飲食等の出店広場・演芸広場・キッズ広場・健康広場、バザー等を設定し、地域住民の交流の場を作り出す。  ２　長野女子高校、三輪中央振興会、小田切自治協と引き続き連携を図る。  ３　長野県立大学との連携も検討する。  ４　収益は、三輪地区自治協の特別会計に留保し災害発生時に活用する。（ひまわり基金）  ５　演芸広場に文芸祭演芸部門を組み込み同時開催する。 |